

# History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

# No.7

## 渋川東光院と青葉の笛

浜松市北区引佐町渋川にある東光院には、永禄7年9月に戦死した新野左馬助公の葬儀について書かれた古文書「乍恐以口上書申上候事」(安政2年3月)が残っています。

この古文書には、①左馬助公の葬儀は、前から因縁のある東光院で行われ、葬られた。②その時、左馬助公の遺物として騎鞍一具と秘蔵の守護仏などを納めた。③この遺物と守護仏は、幕末に新野左馬助親矩公の名跡を相続した彦根の新野親良公に懇願され、新野家に差し上げた。と記されています。東光院は、その後、渋川小学校(現在は廃校)があった場所から現在地に移転しているため、残念ながら親矩公の墓石は不明となっています。

なお、東光院は、井伊直親(亀之丞)が命を狙われたとき、かますに身を隠し家臣の今村藤七郎に背負われ逃れたお寺で、直親ゆかりの「青葉の笛」の絵が所蔵されています。

※東光院は現在、一般の人は拝観できません。

照会 社会教育課 ☎0548⑥1129



▲東光院



▲「信州松源寺にて故郷を偲び愛笛青葉を吹く井伊亀之丞の図」  
伊藤信次氏 画

大河ドラマ「おんな城主 直虎」  
応援プロジェクト

# Atomic

暮らしと原子力

広域避難計画早期策定に向け  
要請書を提出

東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所事故を受け、国の要請により、浜岡原子力発電所の全号機が停止してから5年となります。市は、原子力災害時ににおける広域避難計画の策定に向け、関係機関との協議を進めています。広域避難受入先での調整や避難ルート、避難行動要支援者に対する避難方法など、さまざまな課題が残されています。

そこで、原子力発電所に対する市民の不安を取り除くため、柳澤市長は6月13日、市役所を訪れた「原子力規制に関するプロジェクトチーム※」と意見交換し、要請書を手渡しました。

1. 広域避難受入先都県との調整について  
2. 避難ルートなどの調整、インフラ整備について

3. 避難行動要支援者に対する支援体制について  
4. 安定ヨウ素剤配布の簡略化について

※原子力規制に関するプロジェクトチーム：福島第一原子力発電所の事故を受け、自民党内に設置された組織で、原子力規制委員会や原子力規制庁に対し提言などを行っているチーム。



要請書を手渡す柳澤市長